

「折々のうた」- 四季でつづる それぞれの世界 -

軽音楽



演目 うつのみやジュニアジャズオーケストラ
 うつのみやジュニアジャズオーケストラは、「うつのみやジャズのまち委員会」の提唱により結成されたグループ(バンド)です。宇都宮市民芸術祭軽音楽部会のご協力もあり、現在、小中高生による26名程で活動をしており、宇都宮市民芸術祭や年に1度の定期演奏会その他、オリオンスクエアでのイベントをメインに県内外のジャズイベントにも積極的に参加しています。

ミュージカル



演目 「鬼怒の船頭唄のジャズバージョン」
 「アンダー・ザ・シー」 「LA BAMBÀ」
 「Come Dance With Me」
 「ダンシングクイーン」マンマ・ミーアより
出演 こどもミュージカル どりーみんぐ/K&Kミュージカル/ファンファンミュージカル/潮あかりミュージカルアカデミー/一般公募参加者

謡曲



演目 「松風」
出演 喜多流「緑扇会」
演目解説
 秋の夕暮れ、ひとりの旅僧が須磨の浦を訪れ、旧跡の松に念仏を唱えていると、汐汲車を引くふたりの海人乙女が現れます。ふたりはかつて須磨に配流になった貴公子、在原行平の寵愛を受けた松風村雨の姉妹の豊だと名乗ります。また都へもどった行平の死後ほどなく姉妹も亡くなったと、月明かりの中、姉の松風は行平の形見の烏帽子狩衣をまとい、松に行平の面影を見て、狂乱の舞を舞います。やがて夢からさめた僧の前には、白々と明けゆく浜辺を松風の音ばかりが残っているのです。春と花の「湯谷」(「熊野」)に対して、「松風」は秋と月の名曲となっています。

日本舞踊



演目 「長唄・秋の色種(あきのいろくさ)」
出演 (公社)日本舞踊協会栃木県支部「若柳流」 「坂東流」
演目解説
 弘化2年といえますから、1845年12月1日に初演された曲です。日本の秋は虫の音に情緒を求めます。この曲のすばらしいところは三味線と虫の音を表現しているところです。虫の音をご記憶と思いますが、チンチロリン、ガチャガチャ、スイーチョンなどの表現がされています。我々の先人達は三味線でこの表現をして今日に伝え、そして舞っています。この度は三味線とオーケストラによる秋の夜を舞います。情緒をお楽しみ下さい。

民謡民舞



演目 「野州田植唄」「りんご節踊り」
 「秋田大黒舞踊り」「宇都宮音頭」
出演 宇都宮市民謡民舞連合会
 榮作会/SUBARU民謡会/一千代会/
 彩乃会/美瑞会/聖淡耀会/栄久会/
 初千代会/貫清世会

洋舞



演目 「雲」くるみ割り人形より(改訂振付・演出 林みどり)
 「冬」(振付 柳宏子)
 「つながれ!つながれ!」(振付 妻木律子)



出演 Ayumi Ogane Ballet And Contemporary Dance Studio/石原千代バレエスクール/H. M. Classical Ballet Art Group/MK. School of Ballet/クラシカルバレエアカデミー-S.O.U./スタジオエール/ダンスセンターセレニテ/橋本陽子エコーールドゥバレエ/ヒロコダンススタジオ/みどりバレエスタジオ

大衆芸能



出演 マジック1・2・3/マジック レインボー フラワー/
 下野不動太鼓保存会/「日本伝統芸能吟舞会」扇翠会
 マジック レインボー フラワーは、平成16年創設。マジック1・2・3は昭和58年創設の歴史あるクラブです。いずれのクラブも、宇都宮市民芸術祭をはじめ県内各地で活躍しています。今回の記念事業では、マジックの魅力により身近で感じて頂けるよう、大ホールグランドロビーでの実演となります。また、吟詠剣詩舞では華麗な舞、太鼓では勇壮な和太鼓の音色をご堪能ください。



- 演出: 稲見けい子 妻木律子
- 構成: 岡川光佑 重満武仁 白石高明 坂東右八朗 益子重介 吉原郷之典
- 映像: 則兼大地(白A所属)
- 参加団体: 市民芸術祭ホール部門 (軽音楽、民謡民舞、大衆芸能、ミュージカル、日本舞踊、謡曲、洋舞)
- 舞台・照明・音響: 株式会社東日本舞台
- 舞台監督: 平塚順二 照明: 保坂幸一 音響: 樋口里美



映像制作/
 オペレーション **則兼 大地**

近未来型エンタテインメント集団「白A」で、映像ディレクターとして活動。パフォーマンスと映像を組み合わせた作品の制作から、映像のオペレーションまで行う。

「白A」とは

空間やステージに映像を映し出す「プロジェクションマッピング」と「パフォーマンス」「テクノサウンド」を融合させたエンタテインメント集団。中国「上海万博」出演/第40回日本賞授賞式(皇太子様の前でパフォーマンス) 日本テレビ「24時間テレビ」出演、演出/NHK「紅白歌合戦」出演/NHK Eテレ「にほんごであそぼ」レギュラー出演中/世界では30カ国、500公演以上を行い、10万人以上のオーディエンスを動員。



白A
 WEB
 サイト



次回公演のお知らせ

40th 宇都宮市民芸術祭40周年記念事業
 新時代の扉を開く わたしたちが創るアートの1ページ

歌劇「歌法師 蓮生」(全2幕 8場)

2019 7.7 日

開演 14:00

会場 宇都宮市文化会館
 大ホール

前売チケット
 全席指定

S席 4,000円 A席 3,000円
 学生席 2,000円 ※当日券は500円増

4月6日(土)発売開始

総監督: 荻野久一 演出・美術: 宮本哲朗 台本: 荻野治子 総合指揮: 水越久夫 作曲: 山田栄二 原作: 清水一郎 演奏: 管弦楽部会(栃木県交響楽団)/邦楽部会
 出演: オペラ部会 合唱部会 演劇部会 吟詠剣詩舞部会 宇都宮青少年少女合唱団 主催: 宇都宮市民芸術祭実行委員会